

4/22
(土)

新たな団員が入団

令和5年度松浦市消防団辞令交付式



今年度の辞令交付式が消防本部で行われ、16人の新入団員が辞令を受けました。

新入団員を代表し、第8分団の須藤光太郎さんが宣誓を行い、谷口哲男消防団長が「一日も早く市民から信頼される消防人として活躍されることを大いに期待いたします」と訓示を述べました。

今年度の消防団員数は780人となり、火災や災害などから市民の生命や財産を守るため、日々訓練を重ねていきます。

4/18
(火)

大きくなってね

志佐川での稚アユ放流



この取り組みは、子どもたちの体験学習と志佐川の水産資源保護活動のひとつとして昭和63年より行われています。

今回は、上志佐保育所年中・年長組14人、上志佐小学校1～3年生22人が参加し、2万5千匹の稚アユを放流。後日、2万5千尾が追加され計5万匹が放流されました。

子どもたちは「大きくなってね」と声をかけながら放流し、元気に川を泳いでいく稚アユを笑顔で見送っていました。

4/28
(金)

松浦アジフライ大使が関西に誕生！

MBS 毎日放送 福島暢啓アナウンサー



大阪・毎日放送にて「松浦アジフライ大使」委嘱状交付式が行われ、福島暢啓アナウンサーが就任されました。

福島アナウンサーには、自身がパーソナリティを務めるラジオ番組内にて、アジフライの聖地として市の取り組みを紹介いただいたり、番組の企画にて松浦市を訪れ、アジフライを食べていただくなど、多くのメディアで発信されていることから、今回の就任に至りました。

4/23
(日)

熱い声援、熱い戦い

第18回市長旗小学生バレーボール大会



同大会（松浦市小学生バレーボール連盟主催）が松浦スポーツセンターで行われました。

今年は市内小学校から女子4チーム、男子・男女混合4チームが参加し、白熱した試合を繰り広げました。

上位結果は以下のとおりです。

【総合】①鷹島、②絆

【女子】①鷹島、②新星

【混合・男子】①絆、②福島

5/5
(金)

力を合わせて和船を漕ぐ！

市指定無形民俗文化財 「和船競漕（せいぐる）」



鷹島町阿翁浦地区の伝統行事で「せいぐる」と呼ばれる和船競漕大会（阿翁浦和船競漕保存会主催 瀬戸孝三会長）が開催されました。

この行事は、古来より阿翁浦地区に伝承されており、鎌倉時代の蒙古襲来の際、元の軍船に小船をもって夜討ちを行った名残という説や、豊漁と男子の健やかな成長を願い漁民が始めたという説があります。

現在は、市指定無形民俗文化財の保存継承と地域の活性化や豊漁、子どもの健やかな成長を願って「こどもの日」に開催されています。

今回は、鷹島中学校生徒、教職員、漁協青年部、地域住民らが率いる 17チームが参加。約 10人で和船に乗り込み、1レース 3隻の船が阿翁浦漁港内に設置された往復 300mのコース上の旗 2本を取るタイムを競いました。

5/14
(日)

美しい海岸をめざして

日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃



海洋ごみ問題が世界中で注目される中で、海の環境美化に対する意識啓発を図ろうと日本、韓国の 8 県市道が連携して一斉清掃を行っています。

この日は、松浦マーケット（企画 川浪勇太さん）が毎月第 1 日曜日に行っている市内海水浴場などの清掃活動に合わせて開催され、星鹿町の下田海水浴場にて市内外から約 20 人が参加し、約 350kg の漂着ごみを回収しました。

5/4
～5

さわやかな香りと甘みで賑わう

松浦の極みフェア！キンショウメロンまつり



「松浦の極みフェア」として、キンショウメロンまつりが（道の駅）松浦海のふるさと館で開催されました。

今回は 4 年ぶりに 2 日間の開催となり、初夏のさわやかなキンショウメロンの甘さを求めて、販売開始前から多くの来場者が列を作り、準備された約 1,300 ケースが完売しました。

今年は、収穫直前の雨に見舞われたものの、糖度が高いキンショウメロンに仕上がっており、会場には甘い香りが広がっていました。